

日本遺産指定記念出版

誰にでもわかる

安積開拓の話

改訂新版

助川英樹

安積疏水
2017年版

世が変わって明治に入り、安積原野を切り拓いて大地に水を引き、お米を作ろうとした事業を安積疏水事業と言った。日本最初の開拓事業の一つだ。安積地方に水を、と考えていたのは小林 久敬だが、政府が中心となり、安積原野四千ヘクタールを国費で開拓する方針を明治十年に決定し、安場 保和、中條 政恒らが中心となって疏水事業を進めた。水を得た郡山は、日本の近代化の道を早め、今では東北を代表する近代産業流通都市へと育った。市の中心に浄水場を置いている市は他に例がない。郡山は水の都なのだ！

近代都市へ歩み続けてきた郡山の輝かしい水物語りを是非ご購入ください!!

A5 並製本 予価1,500円+税

歴史春秋社 〒965-0842 会津若松市門田町中野大道東8-1 TEL.0242-26-6567 FAX.0242-27-8110

----- 切りトリ -----

申込書	誰にでもわかる安積開拓の話 改訂新版			申込数	冊	特約店
	お名前					
	ご住所〒					
	(電話番号)					